

安心・安全・快適な暮らしを目指して



恒久平和の実現に向けて

安芸区 全域

今年から8月6日午前8時15分、8月9日午前11時2分にそれぞれ1分間安芸区内の防災行政無線の屋外スピーカー(15ヶ所)から原爆死没者に追悼の意を表し、合わせて恒久平和の実現を祈る為、関係各位のご尽力によりサイレンを鳴らしていただけるようになりました。(※8月15日にも鳴らす予定でしたが、今年は台風接近に伴い中止)



地域の皆様から頂戴した、ご要望を安心・安全で快適な暮らし実現の為、少しずつですが形になる様日々活動しております。引き続き、どうぞ皆様のお声をお気軽にお聞かせください。

市政への提案、要望など  
お聞かせください

川口しげひろ 活動の様子



**建設委員会(市内視察)** 2019.7.9  
建設委員会にて基町高層アパート屋上よりサッカースタジアム建設予定地の視察、担当部署の方より説明を受けました。  
また、基町ショッピングセンターや介護事業所の建設地などを視察しました。



**決算特別委員会(第3分科会 建設関係)** 2019.10.15  
花都川線、山の手線、東部連続立体交差事業の決算計上内容や進捗状況、今後の見通しについて質問しました。  
また、安心・安全な通学路の整備について市の取り組みについても質問をさせて頂きました。



**広島市基本構想・基本計画特別委員会** 2019.8.23  
2020~2030年度までの全計画の基本となる為、広島市の今後の方向性を決める委員会。第6次広島市基本計画たたき台の中で、子育て世代、責任世代の一人として、人口減少と少子化対策について約20分間、質問させて頂きました。



**建設委員会視察** 2019.11.13~11.15  
建設委員会にて金沢、富山、長岡、東京へ視察に伺いました。レンタルサイクル、自転車通行空間の整備、コンパクトシティ、中心市街地の活性化などについて学ばせて頂きました。広島市においても同じ課題を抱えており、しっかりと活かして参ります。

選出区：安芸区  
会派：自由民主党・市民クラブ

所属委員会等：建設委員会・議会改革推進会議  
安心社会づくり対策特別委員会

市政に関するお問い合わせやご要望は 〒736-0083 広島市安芸区矢野東5丁目1-15 クスノキビル2F  
お気軽に **川口しげひろ事務所** まで TEL(082)824-7233  
お申し付けください FAX(082)824-7232  
E-mail:office@kawaguchi.cfns.jp facebook.com/shigehiro.kawaguchi



輝く安芸区の未来のために

広島市議会議員 安芸区

川口しげひろ 市政レポート

2020 新年号  
vol.1

《自由民主党・市民クラブ》 〒730-8586 広島市中区国泰寺町1丁目6-34 TEL:082-504-2734 FAX:082-244-5210  
この川口しげひろ市政レポートは、自由民主党・市民クラブの承認を得て発行しています。

ごあいさつ

自由民主党・市民クラブの川口茂博です。

皆様におかれましては、令和初の新年をつつがなくお迎えになられた事と存じます。

昨年を振り返りますと、4月の統一地方選挙におきましては、多くの市民の皆様から、温かいご声援を頂戴致しまして安芸区より初当選させて頂きました。また、5月には年号が平成から令和に変わり、7月には、甚大な被害をもたらした西日本豪雨から1年が経過し、各地で追悼式が執り行われました。改めて、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますと共に、被災されました皆様に心からのお見舞いを申し上げます。また、9月議会におきまして、会派を代表致しまして、平成30年7月西日本豪雨災害の復旧を中心に市議会議員として初めての一般質問にも立たせて頂きました。

引き続き、微力ではございますが、少しでも皆様の期待に添えるべく全身全霊で取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

災害復興

矢野東5丁目 側溝の泥除去



BEFORE



AFTER

矢野東7丁目 道路舗装



BEFORE



AFTER

矢野西3丁目 シート張替え



BEFORE



AFTER



# 令和元年第3回定例会報告(9月20日)

## 市議会議員として議場での初質問



会派を代表致しまして  
一般質問をさせていただきます。

### 平成30年7月西日本豪雨災害の復旧について(1)



質疑・質問

矢野の復旧について  
主要地方道矢野安浦線の特に被害が大きかった広島熊野道路下付近の災害復旧について、工事期間中の通行はどのようになるのか。また、今後の復旧の見通しはどうか。

回答

- 1 広島熊野道路下付近の主要地方道矢野安浦線の本復旧工事については、本年7月末に請負業者と工事契約を締結し、**現在、復旧箇所の伐採作業や仮設工事の準備に着手**しています。
- 2 矢野安浦線は、矢野地区と熊野町や東広島市黒瀬町などを連絡する重要な幹線道路であり、バス路線でもあることから、復旧工事にあたっては、**通行止めを行うことがないよう配慮**しています。
- 3 ご質問の箇所については、道路の切り直しにより、**常時、2車線を確保**することにしており、**復旧工事は年度内に完了**する予定です。



### 新中央市場建設に伴う、東部市場の跡地利用について(1)



質疑・質問

東部市場の跡地について、どのように活用しようと考えているのか。一部報道でもあったが、売却するというのは事実か。地元の見解(野球やサッカー、グランドゴルフ等の大会ができるような大きな公園)をしっかりと反映させた上で、有効活用を図ってほしいが、どう考えているか

回答

- 1 新中央市場の建設については、東部市場を統合した上で、中央市場の現地において、新中央市場を整備するという方針の下、現在、市場施設の基礎的諸元の調査・検討を進めているところ。来年度は、基礎的諸元を基に、施設配置や概略平面等を整理した上で、各市場施設の整備順序や事業手法を決定する予定としています。
- 2 そうしたことから、**東部市場の跡地の活用方策**については、新中央市場での青果のエリアが整備された後の課題ということになり、**現時点では売却するかどうかも含め未定**ですが、活用方策を検討する段階では、**地域の皆様の御意見もお聞きした上で、判断**していくことになると考えています。

### 平成30年7月西日本豪雨災害の復旧について(2)



質疑・質問

絵下山の復旧について  
絵下山山頂までの道路について、被災箇所は何か所あったか。また、災害復旧はどこまで進んでいるのか。開通の時期もあわせて教えていただきたい。

回答

- 1 矢野霊苑付近から絵下山山頂に至る、市道安芸4区193号線については、**昨年7月の豪雨災害により、道路法面や路肩の崩壊が8か所**で発生しました。
- 2 この被災箇所全ての本復旧工事については、本年1月末に請負業者と工事契約を締結し、**8か所の被災箇所のうち、現在、4か所で工事**を進めています。**残る4か所**については、工事着手後の調査により、崩壊した法面の土質が予想以上に悪く、当初想定していた大型ブロック積みでの復旧では、**安全性が確保できないことが判明したため、軽量盛土工法に変更し、今後、順次工事に着手**することとしています。
- 3 引き続き、**今年度内の出来るだけ早期の復旧を目指して、着実に工事**を進めてまいります。

### 新中央市場建設に伴う、東部市場の跡地利用について(2)



質疑・質問

新中央市場建設に伴う、東部市場の跡地利用について  
東部市場跡地を新たな給食センター建設の候補地として、どう考えるか。

回答

- 1 現在、本市では、デリバリー給食の解消、老朽化する自校調理場・給食センターへの対応、より安全でより効率的かつ持続可能な提供体制の構築といった様々な課題をトータルで解決するという考え方の下、**今後の給食提供体制の在り方を検討**しているところです。
- 2 議員の御提案については、この**在り方検討の結果が出た後に検討**していくことになるものと考えています。
- 3 在り方検討の結果、**仮に、新たな給食センターの建設が必要となった場合**には、立地や面積などの条件やスケジュールなどを勘案して建設場所を判断することになりますが、**東部市場跡地**については、デルタ部に位置する大規模な土地という観点から、その**候補地となり得る可能性はある**と考えています。

### 平成30年7月西日本豪雨災害の復旧について(3)



質疑・質問

矢野中央線について  
災害に強いまちづくりを進めていくためにも、矢野中央線の未整備区間を早期に整備すべきと考えているが、現在の整備状況と今後の見込みはどうか。

回答

- 1 矢野中央線は、JR矢野駅を起点とする延長約1キロメートルの都市計画道路で、海田町域の中店小学校線を介して東広島バイパスや国道2号に接続する路線であり、完成すれば、地域の交通機能や防災機能が向上するものと考えています。
- 2 このため、**矢野中央線の未整備区間約400メートルについて、平成27年度に着手し、用地取得を進めている**ところであり、**平成30年度末時点の取得状況は、面積ベースで約2割**となっています。
- 3 街路事業の予算は厳しい状況下ではありますが、引き続き、**用地取得や道路整備を進め、令和一桁後半の完成を目指して取り組んで参ります**。



### 高齢者いきいき活動ポイント事業について(1)

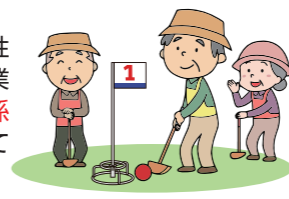


質疑・質問

現在、100ポイントで10,000円支給している奨励金について、将来、例えば、地元広島の商品街や中小企業で利用する方は15,000円、広島市外に本社を置く大手企業関係で利用する方は5,000円など、メリハリをつけて支給するなど、広島市の中小零細企業や個人商店が潤う仕組みに変えてはどうか。

回答

- 1 本事業は、高齢者の社会参加の促進を目的とした事業ではありますが、その本来の目的に加え、地域や地元経済の活性化など他の行政課題の解決にも資する仕組みを**導入することができれば、さらに事業の意義は大きくなる**ものと考えられます。
- 2 このため、今後、地域経済の活性化にもつながるような事業展開を図ることが出来るか、**関係部署とも協議しながら、研究してまいりたい**と考えています。



### 広島市を牽引する大型文化芸術イベントについて



質疑・質問

広島の持続的な発展を牽引するぐらゐのインパクトのある新たな大型の文化芸術イベントを開催し、名実ともに「国際平和文化都市」の実現を目指してはどうか。また、その際、広島国際アニメーションフェスティバルについても、市民がその恩恵を享受できるようなイベントに衣替えて、合わせて実施してはどうか。

松井市長の回答

- 1 広島が目標としている「文化都市」となるためには、多くの市民が、**優れた文化・芸術に親しめるような施設の整備と、市民が自らも容易に文化芸術活動が行えるような環境の整備を一体的に進め**、そのことが市域を越えて広く認知されるようになって初めて実現されるものと考えています。
- 2 そうした考え方の下で、音楽の分野に関しては、一昨年から「音楽のあふれるまちづくり」を掲げ、**広島交響楽団との連携**による活動の充実を図ってきているところであり、その他の文化・芸術の分野に関しても同様に、まずは、これまでの取組の更なる**充実強化を図りながら、国内外への認知度を高めていく**こととしています。
- 3 こうした中で、議員御指摘の大型文化芸術イベントの開催については、札幌市や神戸市を始めとする他都市の事例などからして、広島を国内外に「文化都市」であることを認知してもらうためには欠かさない取組であり、今後、様々な文化・芸術分野の取組を進めるに当たっては、**大型文化芸術イベントの開催を必ず視野に入れた上で、その具体化に努める**こととしたいと考えています。
- 4 その際、この**イベントが一時的なものに終わることなく、広島に根づき持続的に運営**していけるよう、議員御指摘のとおり、行政だけでなく**経済界をはじめとする民間主体との連携も検討**していきたいと考えています。
- 5 なお、アニメーション芸術の原点を踏まえつつ、開催回数を重ねてきている**広島国際アニメーションフェスティバル**については、これまでの成果を更に広げていくという視点に立って、例えば、映画や漫画、メディアアートも含めたメディア芸術全般を対象とするフェスティバルにしていくことも考えられます。単なる**アニメーション事業の枠を超えて経済の活性化や観光振興にも資するもの**にしていくという発想が重要になると考えています。

### 高齢者いきいき活動ポイント事業について(2)



質疑・質問

ポイント事業1年目は、対象者約18万人に対して、参加者が約5万人と約28%の参加率であったが、この点について、どのように考え、どのように改善していくつもりか。

回答

- 1 本事業は、高齢者の社会参加の促進のみならず、介護予防・健康増進やコミュニティの活性化といった効果も有ることが確認できたことを踏まえ、社会参加を期待し得る方に焦点を絞って、**今後、更なる利用拡大を図る必要がある**と考えています。
- 2 事業1年目の効果検証において、地域団体への加入が事業への参加に**好影響を及ぼしている**こと、また、身近な者が誘い合って参加することが参加率の向上に資することが把握できたことから、今後さらに**事業参加者の拡大を図る**ために、身近な非参加者に対してこれまで以上に**積極的な参加を呼び掛けていただく**よう、働き掛けていく必要があると考えています。
- 3 このため、本年8月のポイント手帳送付時に、事業の効果や非参加者への声掛けのお願いなどを記載したチラシを同封して対象の高齢者に参加を呼び掛けていただくとともに、9月には、民生委員児童委員協議会に対して事業参加の呼び掛けへの協力を仰ぐなど、関係機関とも連携して参加促進を図っているところであり、引き続き、**あらゆる機会を捉えて参加者の拡大を図って行きたい**と考えています。